

みつぎ便り

152号
5月号

板橋区役所みどりと公園課の花づくりグループと
エコポリスセンターの環境観察員地域自主活動グループに
所属しているボランティア団体「見次の会」です

平成31年5月1日 https://itbs-ecopo.jp/environsurvey_report



ヒメツルソバ

見次公園の西側に植えてあるメタセコイアの根元に、地面にはうようようにつるを伸ばし、小さくてピンクや白い金平糖のような球状の花を多数つけている植物があります。ヒメツルソバ（姫蔓蕎麦）です。道端や空き地などで普通に見られるため、雑草として認識されています。多くは明治時代以前に観賞用として輸入されたものです。原産地はヒマラヤで、寒さには強いが暑さと乾燥には弱い特徴があります。

タデ科の多年草で、花は、

開花期はピンク色ですが、徐々に色が抜けて白色に変化します。開花時期は長く四月から十二月です。また、秋には葉が紅葉して地面を真っ赤に染め、違う美しさも楽しめます。

ヒメツルソバの名は、ソバの花に似た花で小形であることからつけられたようです。同じタデ科で、もう少し大型の花をつけるツルソバ（蔓蕎麦）という植物もあります。

ヒメツルソバは繁殖力の強い植物ですが、見次公園ではメタセコイアの根元の一群しか見られません。大切に見守りたいものです。
(薫)

スズメノカタビラ

スズメノカタビラは道端や空き地などいたるところに生え、全世界に広く分布している雑草です。ここ見次公園でもあちこちに生えています。いちごつなぎ（苺繁）、にらみぐさ（晩草、葎実草）などの別名があります。一度探して見てください。十月〜十二月に発芽し翌春開花結実します



が、芝生や農耕地では盛夏と真冬を除き一年中見られます。雑草として嫌われていますが、大気汚染に強く空気を浄化する良い面もあります。

見次公園は桜も散り若葉が眩しい季節です。池には鴨がゆつたり動き、スレンダいな鵜も姿を見せています。ほとりの柳の葉は緑に変身して風になびいています。ツツジが赤、白の頭をもたげています。春は英語でスプリング、身も心も弾む季節です。やがて来る夏までの美しい季節を皆様と楽しみたいものです。
(重)